

【参考】奈良市第5次総合計画(案)パブリックコメント意見全文

通し 番号	頁		意見の全文
1	34・ 78・ 100・ 101	・策定にあたって第3章 4 意欲ある人材の活躍と訪日 外国人の増加による経済の活 性化 ・推進方針第4章 7 コロナ禍を踏まえた「まちの 方向性」の再確認 ・施策2-1 観光・交流の促進	観光客の誘致、特にインバウンドについては、V字回復は難しいものの、総合計画前期中に開催される「大阪・関西万博」は市の観光経済回復の起爆剤として利用。 適切なページに市の観光経済の方向性と万博の関係性についてしっかり記述すべき。
2	37	策定にあたって第3章 6 環境問題の深刻化回避に向 けた取組の増大	『すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと』を宣言しました。』と記載され、2050年のことしか示されていませんが、 <b>2030年度年に13年度比46%削減も国際約束しています。</b>
3	92	施策1-4教育支援体制の充実 現状と課題	(現状と課題の5つ目に以下を追記) ●コロナ禍を契機として、今後、オンラインでの授業を余儀なくされることがあったとしても、できる限り対面授業と変わらない教育の質を保つ授業のあり方を検討していく必要があります。また、オンライン授業のもとでも児童生徒間のコミュニケーションをできる限り維持するための工夫も検討する必要があります。
4	93	施策1-4教育支援体制の充実 施策の方向性	(施策の方向性①の4つ目に以下を追記) ・オンライン授業における教育の質を確保する授業のあり方及び児童生徒間のコミュニケーションを維持する方策を検討します。
5	141	施策4-4環境の保全 施策の方向性①	『2050年度までに地域内の温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指します。』と記載され、2050年のことしか示されていませんが、 <b>2030年度年に13年度比46%削減も国際約束しています。</b>
6	141	施策4-4環境の保全 (指標)	上記のとおり、大幅に強化された国の2030年度の削減目標を踏まえると、「指標」の「市域の温室効果ガス排出量」 <b>1,208t</b> は、国の削減強化を無視していると思われます。 内訳不明なので単純計算ですが、13年(1794t)比で46%カットなら、2030年に969tで、2026年ならば <b>1,060t</b> です。
7	2	策定にあたって第1章	(1.「策定にあたって」(p.1以下)「未来ビジョン」(p.57以下)「推進方針」(p.65以下)の全体に関して) 第4次総合計画(前計画)でどこまで進展し、何が問題として残されているのか、という視点との関連が不明。

通し 番号	頁		意見の全文
8	2	策定にあたって第1章	(1.「策定にあたって」(p.1以下)「未来ビジョン」(p.57以下)「推進方針」(p.65以下)の全体に関して)第5次総合計画としての理念が希薄(理念が最も大事)。
9	58	未来ビジョン第1章	(1.「策定にあたって」(p.1以下)「未来ビジョン」(p.57以下)「推進方針」(p.65以下)の全体に関して)「未来ビジョン」という項目がなぜ必要となったのか、前計画との関連や説明はない。
10	69	推進方針【総論】第2章	(1.「策定にあたって」(p.1以下)「未来ビジョン」(p.57以下)「推進方針」(p.65以下)の全体に関して)「推進方針」の総論で「まちの方向性」として、ひとづくり、しごとづくり、くらしづくり、まちづくり、しくみづくりのおのおのについては述べられているが、これらの全体がなぜ「まちの方向性」あるいは「わたしたちのまち」になるのか、ひとづくり～しくみづくり全体の相互関連やその説明はない。
11	73 ～ 93	・推進方針【総論】第3章 重点分野、第4章 計画の実現に向けて ・施策1-1母子保健の推進と子育て家庭への支援の充実 ・施策1-2子育て環境の充実 ・施策1-3学校教育の充実	P73の子育てからP93の学校教育までの項です。 子どもが自主・自律性のある人に育つことが望まれますが、赤ちゃん時代から子どもは1人であるいは身近な人と全身で遊んだり交わったりする中で学ぶということを身に着けていくんだと思います。原案では親からの子育て、学校からの教育に視点があり、肝心の子どもからの視点が乏しいと感じます。子どもの権利条約をうんぬんするまでもなく大事なことであり、教える教育から学ぶ教育へといわれながらまだまだに思います。 したがって、P73-93のどこかに、うまく表現できませんが、要旨「子どもは1人あるいは周りの人と全身で遊んだり交わったりする中で学ぶということを身に着けていくことにきちんと視座を据え、保育・教育の関係者などが適切にフォローアップするように努める」などのような文言を加筆してほしいと考えます。
12	90	施策1-3学校教育の充実 現状と課題	(現状と課題の3つ目に以下を追記) ●選挙権が18歳に引き下げられたのを機に、社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら社会に参画していく能力の育成を目指す主権者教育が広がりをを見せています。小学校・中学校段階から主権者としての意識の涵養が求められており、社会の形成に参画する主権者教育の推進が求められています。
13	91	施策1-3学校教育の充実 施策の方向性	(施策の方向性①に以下を追記) ・社会の形成に参画する主権者の育成に結び付く学習のあり方及び学習方法等の検討を行い、主権者教育の実施を目指します。
14	100	施策2-1観光・交流の促進 現状と課題	(現状と課題の7つ目に以下を追記) ●農村地であり住宅地でもある帯解地域は有数の歴史的・文化的資源に恵まれながらも、少子高齢化に伴う人口減少や空き家の増加など様々な課題を抱えています。しかしながら、JR帯解駅舎の保存・活用による地域の活性化を目指す動きが地元で始まっており、これを機に帯解地域の豊かな文化財や地域資源をネットワーク化して観光振興による地域の活性化を図る必要があります。

通し 番号	頁		意見の全文
15	101	施策2-1観光・交流の促進 施策の方向性	(施策の方向性③に3点目に以下を追記) ・帯解地域の古墳、寺社、中世城館跡、田園、溜池、集落、街道筋の歴史的な町並み、近代遺産である帯解駅舎等を結び付けることにより、新たな奈良観光の体験ゾーンづくりを目指します。
16	133 ～ 153	推進方針【各論】第4章 全般	(2.「推進方針」「各論」第4章まちづくり(p.134以下)に関連して) まちづくりが防災や消防・救急救助など「安全・安心、環境・衛生、都市基盤」に関わり個別的に説明されていますが、これらの推進・実現は、ある意味では、当たり前。これらが実現されると「わたしたちのまち」になる、その意味はどこに？まちづくりが実現された場合、現在の生活とどのように相違するのか？の説明が必要。
17	140	施策4-4環境の保全 現状と課題	(2.「推進方針」「各論」第4章まちづくり(p.134以下)に関連して) 施策4-4環境の保全で「新クリーンセンター」の整備が述べられていますが、およそ10数年前の地域住民との合意からすれば、奈良市行政が設置に責任を持つ必要があり、「広域化を軸に検討」で済むものではない、問題を曖昧にせず、奈良市行政の特別の役割を明記すべき。
18	144	施策4-6土地・景観の整備 現状と課題	(現状と課題の4点目に以下を追記) ●市街化調整区域内の既存集落や古い街道筋の町並みでは、市街化区域の市街地に比べて人口減少や少子高齢化が進行しており、地域活力の低下やコミュニティの衰退が進んでいます。そのため、既存集落や町並みにおける地域活力や地域コミュニティの維持・活性化を図るため、市街化調整区域内においても、市街化の抑制を基本としながらも、地域の実情に応じた計画的な土地利用の保全・規制・誘導によるまちづくりを検討する必要があります。
19	145	施策4-6土地・景観の整備 施策の方向性	(施策の方向性①の3つ目に以下を追記) ・帯解駅舎の保存・活用による地域の活性化を目指している帯解地域の市街化調整区域については、市街化の抑制を基本としながらも、計画的な土地利用の保全・規制・誘導によるまちづくりを目指します。
20	151	施策4-8住環境の向上 施策の方向性②	(2.「推進方針」「各論」第4章まちづくり(p.134以下)に関連して) 同上環境では触れていませんが、朱雀5丁目で地域的資源に注目すれば「緑の活用」が必要、様々な公園、緑地を地域住民が利用できるよう歩道などの整備が必要。
21	152	施策4-9利水・治水対策の推進 現状と課題	(現状と課題の7つ目の●に下線部分を追記) ●河川や溜池は自然環境を備えた貴重な公共空間であることから、水辺に親しめる河川づくりや溜池周辺整備が求められています。
22	153	施策4-9利水・治水対策の推進 施策の方向性	(施策の方向性の③に下線部分を追記) ・主要な河川や溜池において、関係機関と連携し水辺の散策や生物の育成などに配慮した取組を進めます。

通し 番号	頁		意見の全文
23	156	施策5-1市民参画と開かれた 市政の推進 現状と課題	(3.「各論」第5章(p.155以下)に関連して次のような行政施策が必要) 奈良市レベルとともに、北部地域などかつて奈良市都市計画課が設定した「地域」ごとにまちづくりの理念や目標の設定、施策推進が必要。
24	156	施策5-1市民参画と開かれた 市政の推進 現状と課題	(3.「各論」第5章(p.155以下)に関連して次のような行政施策が必要) 奈良市行政として、職員を上記のような地域ごとに設定すべき。
25	156	施策5-1市民参画と開かれた 市政の推進 現状と課題	(3.「各論」第5章(p.155以下)に関連して次のような行政施策が必要) 奈良市民意識調査を毎年実施し、冊子にまとめるべき。
26	156	施策5-1市民参画と開かれた 市政の推進 現状と課題	(3.「各論」第5章(p.155以下)に関連して次のような行政施策が必要) 各自治会連合会ごとに「まちづくり協議会」が設置されていると思われませんが、補助金を出すだけでなく、その議論や取組をどこかで紹介すべき。
27	156	施策5-1市民参画と開かれた 市政の推進 現状と課題	(3.「各論」第5章(p.155以下)に関連して次のような行政施策が必要) 奈良市が音頭を取って「まちづくり」の啓発活動に恒常的に取り組むことが必要。
28	160	施策5-2行財政改革の推進 現状と課題	(3.「各論」第5章(p.155以下)に関連して次のような行政施策が必要) まちづくりとはなにかで奈良市としての理念、その説明が必要(上記1に同じ)。